

平成 28 年 7 月

乳の学術連合会員各位

乳の学術連合運営委員会

委員長 折茂 肇

## 平成 28 年度「乳の学術連合」学術研究報告会 開催のご案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「乳の学術連合」を構成する 3 研究グループ（牛乳乳製品健康科学会議、乳の社会文化ネットワーク、牛乳食育研究会）が毎年取り組んでおります学術研究につきまして、報告会を下記の通り開催いたしますのでご案内申し上げます。

今回の学術研究報告会は、「乳の学術連合」の領域横断的研究の推進及び研究者間の交流の場としても位置づけ、8 月 26 日(金)、27 日(土)の 2 日間にわたり「食と教育」「牛乳乳製品健康科学」「乳の社会文化」の 3 研究領域の報告会を開催し、また、1 日目夕刻には情報交換会も開催いたしますので、ぜひご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

### 記

1. 日時：平成 28 年 8 月 26 日（金）、27 日（土）
2. 場所：学士会館（東京都千代田区神田錦町 3-28、TEL 03-3292-5936（代表））
3. 内容：平成 27 年度に行われた委託研究の報告会、および情報交換会
4. 全体スケジュール

日付	時間	内容
8 月 26 日(金) 【1 日目】	13：30～16：45 (13：00 受付開始)	①「食と教育」の部 会場：2 階「210」
	17：00～18：30	* 乳の学術連合 情報交換会 会場：2 階「202」
8 月 27 日(土) 【2 日目】	10：00～16：00 (9：30 受付開始)	②-A「牛乳乳製品健康科学」の部 会場：2 階「202」
	10：00～16：00 (9：30 受付開始)	②-B「乳の社会文化」の部 会場：3 階「320」

5. 参加申込方法：開催プログラムもご参照のうえ、8 月 19 日（金）までに別添「参加申込書」に必要事項ご記入の上、FAX またはメールにてお申し込みください。

6. お問合せ先：乳の学術連合事務局・西本（TEL 03-6226-6352、t-nishimoto@j-milk.jp）

以上

## 平成 28 年度「乳の学術連合」学術研究報告会 プログラム

### ①「食と教育」の部

日時：【1 日目】平成 28 年 8 月 26 日（金）13：30～16：45（13：00 受付開始）

場所：学士会館 2 階「210」会場

※1 件あたり発表 20 分、質疑応答 10 分の計 30 分

時間	発表者	発表テーマ
13:00	受付開始	
13:30	開会 主催者挨拶	
13:30～ 15:00	① 篠原 久枝 宮崎大学 教育文化学部 准教授	家庭科を中心とした「乳」を意識した系統的、総合的な教育プログラム試案開発の基礎研究
	② 廣田 直子 松本大学大学院 健康科学研究科 教授	食を伝える新しい異世代間地域ネットワークづくりのための参加型アクションリサーチ～食事の形と低栄養予防対策の視点を組み入れて～
	③ 柴 英里 高知大学教育学部 講師	大学生を対象とした乳摂取促進に資する食育プログラムの開発と評価に関する実証的研究—行動変容理論および疲労・ストレス測定システムを導入して—
15:00～ 15:15	ミルク&コーヒーブレイク（15分）	
15:15～ 16:15	④ 中澤 弥子 長野県短期大学 教授	イギリス及びスロバキアと日本における「乳」を活用した食と教育の比較研究
	⑤ 野口 穂高 早稲田大学 教育・総合科学学術院 専任講師	大正期から昭和初期の東京市における「牛乳配給事業」の研究—「身体虚弱児童」への対応を中心に—
16:15～ 16:35	審査委員会	
16:35～ 16:45	優秀者発表・表彰、総評	
16:45	閉会	

### \* 乳の学術連合 情報交換会

日時：【1 日目】平成 28 年 8 月 26 日（金）17：00～18：30

場所：学士会館 2 階「202」会場

## 平成 28 年度「乳の学術連合」学術研究報告会 プログラム

## ②-A「牛乳乳製品健康科学」の部

日時：【2日目】平成28年8月27日（土）10：00～16：00

場所：学士会館2階「202」会場

※1件あたり発表15分、質疑応答5分の計20分

時間	発表者	発表テーマ
9:30	受付開始	
10:00	開会 主催者挨拶	
<b>【第1部】 運動・スポーツにおける牛乳乳製品の栄養学的意義に関する研究</b>		
10:10～ 11:10	① 立木 隆広 近畿大学医学部 助教	長期大規模コホートにおける牛乳摂取量の体重、BMI および体組成への影響評価
	② 寺田 新 東京大学大学院総合文化研究科 准教授	牛乳による運動後の筋グリコーゲン回復促進効果の検討－消化管ホルモンの分泌促進作用に着目して－
	③ 田中 喜代次 筑波大学体育系 教授	栄養強化ミルクの飲用効果を高める運動プログラムの作成－高齢者の筋量・筋力に着目して－
11:10～ 11:20	休憩（10分）	
<b>【第2部】 牛乳乳製品とメンタルヘルスに関する研究</b>		
11:20～ 12:00	④ 三宅 吉博 愛媛大学大学院医学系研究科 教授	妊娠中の乳製品、カルシウム、ビタミンD摂取と産後うつ病のリスクとの関連
	⑤ 岡島 義 公益財団法人神経研究所	牛乳乳製品摂取量と睡眠・疲労・健康感に関する一般人口調査研究
12:00～ 13:00	昼食休憩【60分】	
<b>【第3部】 牛乳乳製品が免疫機能に及ぼす影響に関する研究</b>		
13:00～ 14:00	⑥ 西村 智 自治医科大学分子病態研究部 教授	牛乳は肥満した脂肪組織における免疫細胞賦活化過程を抑制するか？
	⑦ 川上 浩 共立女子大学大学院 教授	腸溶性ラクトフェリンの免疫調節作用および抗ストレス作用
	⑧ 山田 潔 宇都宮大学農学部 講師	超高圧処理による牛乳アレルゲンの低アレルゲン化と経口免疫寛容の誘導
14:00～ 14:15	ミルク＆コーヒーブレイク【15分】	

【第4部】	各ライフステージにおける健康と牛乳乳製品 ー妊娠期、授乳期を含む各ライフステージにおける検討ー	
14:15～ 15:15	⑨	岡山 明 生活習慣病予防センター 代表
	⑩	橋本 貢士 東京医科歯科大学大学院医歯学 総合研究科 特任准教授
	⑪	岡田 恵美子 北海道大学大学院医学研究科 特任助教
15:15～ 15:45	審査委員会	
15:45～ 15:55	優秀者発表・表彰、総評	
16:00	閉会	
		岩手県北地域における牛乳摂取と食習慣、生活習慣および循環器疾患危険因子の関連
		妊娠期および授乳期におけるマウス母獣の牛乳摂取による仔のエピゲノム解析 (Fibroblast Growth Factor 21 遺伝子のエピゲノム記憶の生理的意義の解明)
		牛乳・乳製品摂取および食事パターンが地域在住高齢者の身体活動量と体力に与える影響

## 平成 28 年度「乳の学術連合」学術研究報告会 プログラム

## ②-B「乳の社会文化」の部

日時：【2日目】平成 28 年 8 月 27 日（土）10：00～16：00

場所：学士会館 3 階「320」会場

※1 件あたり発表 20 分、質疑応答 10 分の計 30 分

時間	発表者	発表テーマ
9:30	受付開始	
10:00	開会 主催者挨拶	
【第 1 部】 10:10～ 12:20	① 日高 杏子 多摩美術大学美術学部 非常勤講師	牛乳パッケージの色彩とデザインの日米比較 文化研究
	② 西原 彰宏 亜細亜大学経営学部 准教授	小売業における牛乳PB展開を通じた売場活 性化に向けて
	休憩（10分）	
	③ 徳田 克己 筑波大学医学医療系 教授	中国における乳児を持つ母親の粉ミルクの購 買行動とその正常化のための啓発の効果
	④ 橋爪 伸子 京都府立大学 京都和食文化研究センター 共同研究員	近代日本の乳受容における菓子の意義 －京都の事例を通して－
12:20～ 13:10	昼食休憩	
【第 2 部】 13:10～ 15:20	⑤ 徐 美朗 日本大学大学院 生物資源科学研究科 研究員	韓国における牛乳・乳製品の受容 －日本との比較を通して－
	⑥ 宮田 剛志 高崎経済大学地域政策学部 准教授	酪農経営の成長要因に関する研究 －北海道 A 町の実態分析より－
	ミルク＆コーヒースタンド（10分）	
	⑦ 竹下 広宣 名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授	被災地産乳需要回復に資する実効的コミュ ニケーション手法の開発
	⑧ 木村 純子 法政大学経営学部 教授	乳製品の社会経済的発展に関する日欧比較研 究－知の創造と文化との関係を手がかりに－
15:20～ 15:50	研究報告審査委員会	
15:50～ 16:00	優秀者発表・表彰、総評	
16:00	閉会	

## 【会場ご案内図】

## 「乳の学術連合」学術研究報告会 会場地図

会場：「学士会館」

住所：東京都千代田区神田錦町 3-28 ☎ 03-3292-5936（代表）

&lt;最寄り駅&gt;

- 都営三田線／都営新宿線／東京メトロ半蔵門線「神保町」駅  
「A9」出口から徒歩1分
- 東京メトロ東西線「竹橋」駅  
「3a」出口から徒歩5分

